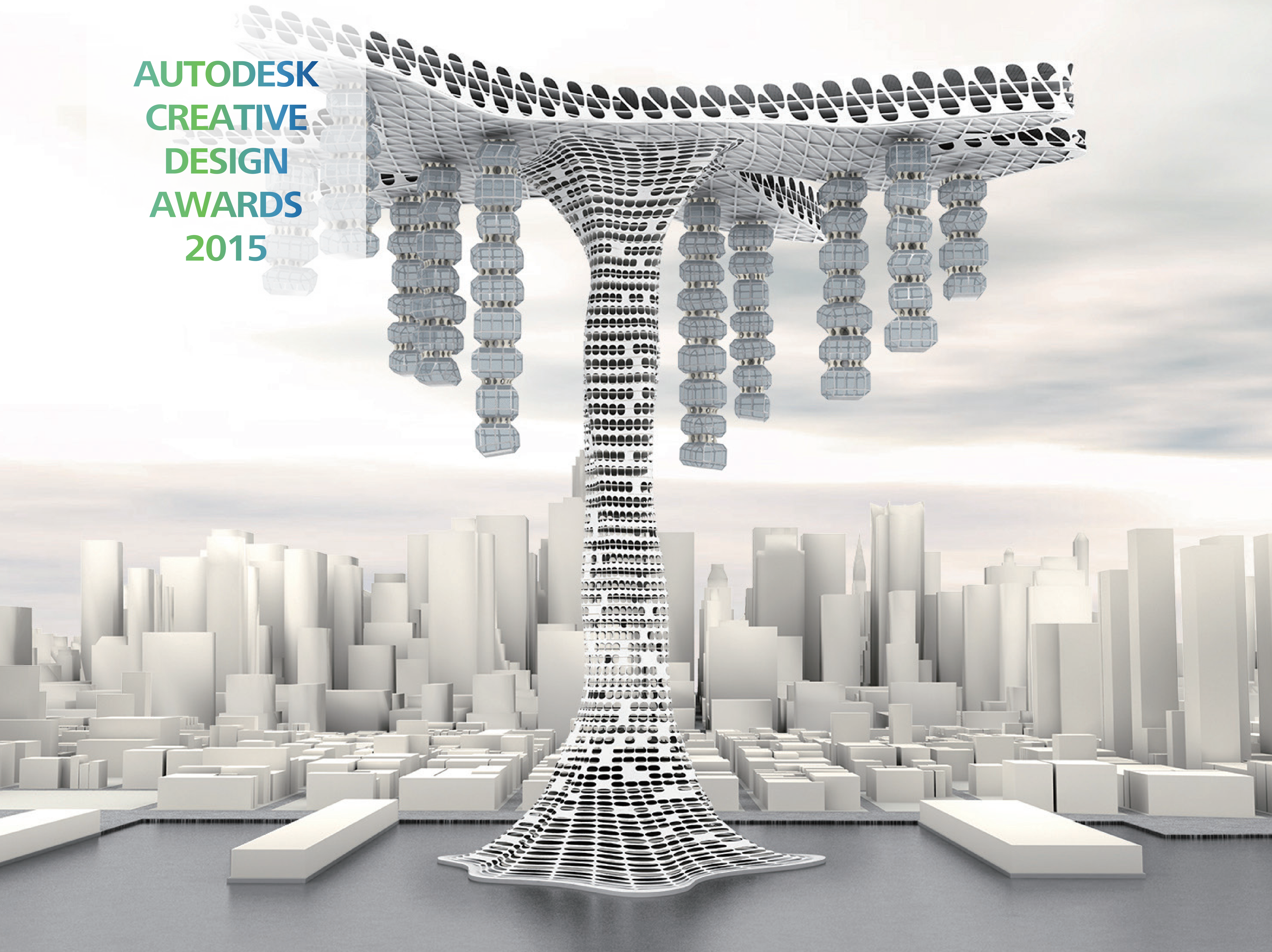


AUTODESK
CREATIVE
DESIGN
AWARDS
2015



ビジュアライゼーション
部門
グランプリ

重村 珠穂 様、Jeong Jun Song 様

上空地を最大限に利用した 未来の高層ビル

高層ビルは、高密度の都市の中で高さ方向に床面積を提供し、大勢の人に居住の場を提供するだけでなく、都市のランドマークとしても存在しています。高層ビルの抱えている問題を解決しながら既存の建物とは異なった楽しい高層ビルを考えてみたいという思いから未来の高層ビルをビジュアライゼーションしてみました。

高層ビルは、高さ方向に人を輸送することは可能ですが、必ず人が集積するのは地面レベルになります。最上階を広場にし、上方向にも人が移動することで輸送混雑を緩和することを可能にし、増築可能なデザインとしてみました。さらに、ランドマークとして大木のような建築が都市の中にあるようなデザインを考えてみました。

受賞者プロフィール

慶應義塾大学大学院修了後、大林組、MIT、楨総合計画事務所を経てハーバード大学大学院修了。大成建設にてBIM業務に従事。旧新国立競技場、NYワールドトレードセンター等に参加。早稲田大学大学院では「デジタル環境設計特論」の授業を担当(非常勤講師)。泥くさいコンピューテーションをキーワードに、3次元設計・BIMと環境解析を主軸に、産学両分野でコンピューテーション技術を利用したデザイン支援を行っている。

